

ホンジュラス La Esperanza 小水力発電プロジェクト

La Esperanza Hydroelectric Project (国連番号0009) 



排出権の種類:

認証排出削減量 (Certified Emission Reduction)
クリーン開発メカニズム (CDM) に基づき発行される国連認証のクレジット

本事業の概要:

本プロジェクトは世界銀行が設立した3つの炭素基金のひとつである世界銀行コミュニティ開発炭素基金 (CDCF) が手がけた世界でもっとも早い時期に登録されたCDMプロジェクトです。CDCFは、発展途上国が行う小規模の温室効果ガス排出削減プロジェクト(水力、風力、太陽光などの再生可能エネルギーの利用促進など)に対して、京都メカニズムの枠組みを活用し資金協力するファンドとして運用されています。本プロジェクトは、中米ホンジュラスのエスペランザ市において、Rio Intibuca川に1万2,700kWの小規模水力発電所を建設し、同市および周辺地域の約4万人に対して電力を供給するものです。これにより、2024年までに年間約3万7,000トンの温室効果ガス削減が期待されています。

推定削減総量: 259,217 tCO₂e
推定年平均削減量: 37,031 tCO₂e/年
クレジット発生期間: 2003年~2010年

